

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870102690
法人名	有限会社 優寿の里
事業所名	グループホーム 優寿の里
所在地	松山市堀江町甲207番地1
自己評価作成日	平成23年1月10日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載](#)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成23年2月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

経営者、ご利用者とそのご家族、スタッフとのご家族、みんなが支えあって「一つの大きな家族」となり、「生きること」に向き合いながら共に生活をし、学び、楽しく・温かく・安心のできる「家庭」を築くことを目標にしています。

スタッフは、認知症ケアのプロとしての意識と向上心を持ち、「本人本位」という点を大切にしながら実践し、日々のケアがより質の高いものへと進化するように取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

幹線道路から少し奥まった、工場が多く立ち並ぶ地域に建てられたホームであるが、目前にある川岸には魚や鳥の姿も見られるなど、季節折々の自然を感じることができる。リビングキッチン、明るく陽が射し込み、和やかな雰囲気です。団欒の場、憩いの場となっている。職員は利用者本位を大切にケアを心がけており、対応や口調は優しく穏やかである。利用者は安心して生活が送れており、明るい表情が見られる。代表者や職員は共にホームの質の向上を目指しており、積極的に研修へも参加している。代表者と職員の間には壁がなく、自由に意見が言い合えるなど、相互に信頼関係が構築されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I.理念に基づく運営
- II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム 優寿の里

(ユニット名) 1F

記入者(管理者)

氏名 藤本 崇

評価完了日 平成 23 年 1 月 10 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 理念や基本方針を各所に掲示し、職員全員で共有、実践することにより、地域の中で「その人らしく」暮らし続けられるよう努めています。 また、基本方針の中にも、家族や社会から信頼される開かれたホームを目指しています。</p> <p>(外部評価) ホーム内の随所に掲示されており、常に職員への意識付けになっている。開設当初からの理念、基本方針を大切に、利用者が安心した生活が送れるよう支援している。職員会議で個々のケースに当てはめ、基本方針をおりまぜて話し合い、振り返りを行いながら実践に繋げている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 入居されている方のご家族や、職員の中に同じ町内の方がおり、地域の情報を日常的に得ることができ、できる限り地域行事等に参加させて頂いています。 また、利用者の体調や気候等を考慮しながら、近隣を散歩したり、地域の行事や店舗に外出することにより、利用者が地域から孤立することのないよう努めています。</p> <p>(外部評価) 町内会主催の敬老会や運動会等の行事にも積極的に参加し、地域の方と交流している。日常的な散歩の中で近隣住民との交流があり、収穫したての野菜や桜の枝等のお裾分けを頂くこともある。工場が多い地域ではあるが、ホームで行われる勉強会に近隣の企業からの参加者もあり、運営推進会議の活用努力が感じられる。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 気軽に立ち寄り相談して頂けるよう、民生委員さんやご近所の方に声をかけており、日中は常にオープンにすることにより、いつでも見学・相談に応じることできるようにしています。</p>	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議においては、報告事項も重要ですが、それぞれの意見の交換に重きを置き、活発な意見のやり取りをすることにより、今後の質の向上に努めています。 (会議時間の半分以上は、意見交換の時間となっています。) また、ホームの取組み、対応の成功事例などを発表し、参考にしていただいている。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議を勉強会や行事と併せるなど内容についても工夫しており、有意義な会となっている。また、代表者は意見交換の時間を大切に考え、双方向の会議となるよう心がけている。家族から意見や質問等もあり、活発に意見交換が行われている。議事録は、分かり易く詳細に記録され、会議の様子が伝わる内容となっている。</p>	<p>開催日時や会議内容を工夫しながら実施されており、会議参加者による活発な意見交換もあり、有意義な会議となっているが、更なる質の向上にむけた課題の取組みのために、参加経験のない関係者への働きかけに期待したい。</p>
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議の際には、必ず連絡をし、日々の活動内容を報告するばかりではなく、様々な意見交換をご家族や地域の方々とすることにより、市町村担当者との協働関係を築いています。 また、必要に応じて相談にのって頂き、適切なアドバイスを頂いています。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議のみならず、代表者は日頃から積極的に市の担当者に電話で相談したり、助言を得ながら改善課題に取り組んでおり、協力関係を築く働きかけを行っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 度々、職員会、運営推進会議の議題に取り上げ、ご家族とも十分に話し合う機会を持ち、勉強会等を通じて、身体拘束の内容や弊害を職員全員が正しく理解し、身体拘束を行わないケアを目指しています。</p> <p>(外部評価) 職員は身体拘束による弊害も理解し、言葉の拘束も含めて排除に向けた取り組みを行っている。機会あるごとに職員間で話し合い、意識付けを行っている。不穏な行動が見られる場合は、職員が付き添い対応している。防犯のため、夜間等の必要最低限の範囲で施錠を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待について、職員会や勉強会で話し合いを行い、些細なことでも見過ごすことの無いよう早期に発見し、防止する努力をしています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 各制度に関する研修会に参加したり、パンフレットを入口に置き、必要に応じて活用できるよう支援しています。 また、必要と考えられる利用者の方については、個別に相談し、関係各所への橋渡しを行っています。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用者やご家族と、何度も面談を重ね、御説明させて頂き、様々な不安や問題点について話し合いを持ち、御納得いただいた上で、契約していただいています。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議、家族会の場を含め、日頃から気軽に意見、不満、苦情を言える関係づくりを心がけ、反映させています。その御意見や御要望を積極的に引き出すことができるよう、面会時には必ず近況やホームの取り組みについて報告させて頂き、率直な意見を頂けるよう働きかけをしています。 (外部評価) 利用料を窓口支払とし、なるべく家族に訪問してもらえる機会を設けている。職員は、面会時に家族が気兼ねなく意見や要望を言えるような雰囲気づくりに努めながら、必ず声かけを行なっている。運営推進会議の案内も毎回全員の家族に呼びかけ、会議の内容も報告している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の見 意見や提案を聞く機会を設け、反映させてい る	(自己評価) 運営に関する職員の見 意見や提案については、いつでも 気軽に出していただける様な関係作りに努め、出され た意見については、早急に検討し、取り入れるように 努めています。 また、職員会議、ケース会議、相談ノートなどでも意 見を交換し運営へ反映させています。 (外部評価) 日頃から代表者や管理者は、職員との関わりを大切に 考えいつでも話を聞く姿勢を持って対応している。職 員から出された要望や意見は、職員会議以外でもその 都度、検討されケアに反映されている。しっかりとし た信頼関係が築かれており、安心して職員が意見を述 べられる環境となっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実 績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時 間、やりがいなど、各自が向上心を持って 働けるよう職場環境・条件の整備に努めて いる	(自己評価) 職員個々の能力や努力、勤務状況について常に把握 し、評価を行っています。また、職員が働きやすい職 場であるように、職員個々の事情も考慮してシフトを つくり、諸事情にできる限り対応できるように努め、 全員1～8年の勤続年数となっています。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケ アの実際と力量を把握し、法人内外の研修を 受ける機会の確保や、働きながらトレーニ ングしていくことを進めている	(自己評価) 研修会、勉強会、定期購読の雑誌（おはよう21）な どで勉強し、実践に生かしています。また、日々のケ アを職員間で密に話し合うことにより質の向上を目指 しています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流す る機会をつくり、ネットワークづくりや勉 強会、相互訪問等の活動を通じて、サービ スの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 夏祭りなどの行事への参加や意見交換会への参加を通 じて、地域のグループホームや医療福祉関係者との ネットワークを構築しています。今後、職員間での ネットワーク作りにも取り組んで行きたいと、考えて います。	
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が 困っていること、不安なこと、要望等に耳 を傾けながら、本人の安心を確保するため の関係づくりに努めている	(自己評価) 利用者やご家族からよくお話を伺い、現状とこれから の求めに沿っていけるよう努めています。 また、新たな利用者に対しては、全く違った環境へ飛 び込むことへの不安や恐れについて心情を理解するこ とにより、積極的な声かけをし、職員全員が情報を共 有することにより、信頼関係の確立と安心の出来る生 活の場の提供を、重点的に行っています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ご入居前に、ケアマネージャーと共にご家族の不安や想いをよく聞かせて頂き、ホームの見学をして頂くことにより、利用者が安心して生活できるようなサービスを提供できるよう関係作りに努めています。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) サービス利用開始段階に、利用者やご家族からよくお話を伺うことにより、必要とした支援を検討しています。また、その場合に他のサービス利用が検討される場合には、提案、橋渡しを支援しております。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 利用者一人ひとりの人格・歴史を尊重し、理念にもある共に生きる姿勢を大事にしています。ゆったりとした時間の中で、家事や歌、昔の話を通し、本人の経験を学ぶ場を作っています。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 気軽に訪問できる場を作り、ご家族と共に本人を支え、今まで以上のより良い関係を築けるようにしています。また、ご家族の方へ行事の参加を呼びかけ、共に楽しめる環境を提供しています。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 利用者や家族のこれまでの生き方を大切にし、利用者の望む暮らしが継続できるよう、様々な角度から情報収集し、ケアに生かすように努めています。また、利用者の記憶の中にある、なじみの場所への外出支援を行ったり、ご親戚や知人などの訪問や電話等でのやりとりもあります。 (外部評価) 一人ひとりの入居前の生活習慣を必ず確認し、入居後も習慣が継続できる支援に努めている。行きつけの理美容室に行ったり、家族の協力を得てお正月やお盆を利用して帰省する利用者もいる。家族の訪問は多く、職員も定着しており馴染みの関係継続ができています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 一人ひとりの時間を大切にしながら、レクレーションや行事等を通じて利用者同士の関わり合いを支援しています。 その中から、利用者一人ひとりの気持ちを把握し、共に喜怒哀楽を感じられる場面を支援しています。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) サービス利用が終了しても、関係性の継続が必要と考えられる場合には、電話や訪問等により、関係を断ち切らないように努めています。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日常の会話の中や、ちょっとした訴えの中から利用者の要望を捉え、職員間で情報の共有を行い利用者本位のケアに努めています。 要望の訴えの困難な場合には、利用者やご家族の立場に立ったケアを心がけています。 (外部評価) 職員1人に対して、利用者1人から2人の担当制であるが、夜勤や入浴時、散歩中など、何気ない日常生活のなかで得た気づきや個々の思いは、個人ファイルに記載され職員間で共有できるようになっている。個人記録をもとにケース会議で検討され、本人本位の支援が行われている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人からの聞き取りやご家族からの情報提供により、今までの暮らしを把握することに努めています。 また、日常の生活や、昔の経験・記憶を話して頂くことにより、これまでの暮らしを把握できる努力を行っています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 利用者個々人の「できる力」を暮らしの中から発見し、日々のケアに生かしています。 また、ミーティングや職員会、日常の記録等により、利用者一人ひとりの現状を職員全員が把握しています。	



自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) ケアマネージャーを中心とし、本人・ご家族の意見を取り入れた介護計画を作成しようと努めています。また、ケアプラン評価やモニタリングにより、意見やアイデアを取り入れ、利用者の現状に即したケアを柔軟に行えるよう努めています。  (外部評価) 毎月モニタリングを行い、個人ファイルに記載された情報や家族からの要望等も踏まえて、介護計画を見直している。3か月ごとに介護計画を作成し直し、現状に即した支援を行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 気づきや工夫の情報をミーティングや評価、職員会議等を通じて共有することにより、その時に合った介護計画を立てられるようにしています。また、必要な場合には、ケース会議を行い、個別のチェックリストを作成することにより、情報の一覧化と共有を図っています。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にもまれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 利用者やご家族の話をよく聞き、その時々に応じた柔軟な対応に努めています。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 施設近隣にある地域資源を把握し、協力を得られるように努めています。また、利用者一人ひとりの体調や残存能力を把握し、できる限りそれを発揮できるような地域資源とのかわり方を考えています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価)</p> 医療機関、訪問歯科医院等と連携をとっています。 24時間体制で緊急時には指示を仰ぎ、適切に対応し てもらえる体制を構築しています。 また、利用者のご家族に相談、説明しながら、皮膚 科・眼科・婦人科等の専門医や総合病院での定期受診 も支援しております。	
			<p>(外部評価)</p> 2週間に1回、協力医療機関の往診があり適切な医療 が受けられるよう支援している。希望があれば専門医 の受診支援も行っている。受診結果は、個別ファイル に記載され、職員間で共有できるようになっている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価)</p> 連携を持っている医療機関の看護職の方に、日常の健 康管理・医療活用の支援をして頂いています。 また、勉強会等で得た医療的知識や日々のケアを通じ て気づいた情報を、早い段階で医療との連携につなげ る努力を行っています。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価)</p> 入院時には、利用者が安心して治療できるよう、医療 機関との情報の共有に努め、早期退院につなげられる よう医療機関や利用者・ご家族と退院計画の相談を 行っております。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> ご家族、かかりつけ医、管理者、ケアマネージャー等 と常に話し合いを持ち重度化、終末期に向け全員で方 針を共有しています。	
			<p>(外部評価)</p> 早期から終末期に向けた話し合いを繰り返し行い、状 況に合わせて支援を行っている。今までに8例の看取 りの経験があり、職員全員が看取りの経験者である。 看取りに関する方針を職員全員が共有し、家族、医師 など関係者と密接に連携して支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 重度化、終末期に向けたチーム支援は、利用者がより良く暮らせる為にかかりつけ医等と共に支援内容を見極め、関係者全員を一つのチームとして支援に取り組んでいます。また、そう取り組めるよう、かかりつけ医や職員間で検討や準備を行っています。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年二回の避難訓練を行っています。職員全員で避難場所を確認し、懐中電灯や非常水等の備蓄品の準備を行っています。また、日頃から近隣との関係を密に取り、非常時には協力し合えるよう交流を図っています。  (外部評価) 年2回消防署立会いのもと避難訓練を行っている。運営推進会議を利用し、防災訓練とともにAEDの講習を行うなど地域との協力体制が築けるよう働きかけている。工場が立ち並ぶ地域ではあるが、近隣の企業協力を得ており、緊急時の連絡体制も整っている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 個人のプライバシーには十分に注意し、言葉かけや対応記録の取り扱いに十分な配慮を行っています。また、個人情報に関しても、使用する場合には同意書と共に個人と特定できないようにしています。  (外部評価) 職員の口調や態度は穏やかで笑顔で会話がされており、明るく優しい雰囲気である。羞恥心にも配慮した支援がされており、一人ひとりを尊重した対応が行われている。面会簿は個別に記録されるようになっており、プライバシーを損ねない対応を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日々の生活の中から本人の要望、希望を見つけ出し、出来ないことをあきらめめるのではなく、支援により出来ることへの発見に重きを置いています。本人の意思の尊重、希望に沿うような働きかけ、力に合った説明を支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) その人らしい生活を送れるよう、職員の都合よりも、利用者の希望を優先して支援しています。それぞれの残存能力の合わせ、一人ひとりのペースで、ゆっくりと柔軟な対応が取れるよう支援しています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 整容に関するチェックリストを使用し、身だしなみには十分に配慮しています。理容、美容も本人の望む時期、場所等についても支援しています。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者個人個人の好き嫌いを把握し、普段のメニューの中にも取り入れながら、バランスの良い食事内容を心がけています。 また、食事は個々に合わせた支援を行い、準備、片付けなど出来る範囲で共用して頂いています。 ホットプレートを使った料理等をし、一緒に楽しめる場を作っています。	
			(外部評価) キッチンリビングと一体となっており、匂いや音は食欲を刺激し会話も弾ませている。ユニットごとに利用者の希望を取り入れながら献立を作成し、誕生日にはリクエストメニューでお祝いをしている。食事の準備や調理、片付けなど見守りながら支援している。自家菜園の季節野菜の収穫も楽しみの1つとなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 旬の野菜を中心とする食事を提供し、多くの種類を使用したメニューと栄養のバランスを考えた食事内容になるよう努めています。 また、水分量に関しても一日を通じて確保できるように努め、必要な方には、チェックリストを使用しながら支援しています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 起床時や毎食後に利用者に応じた声かけや支援を行うことにより、歯磨き、口腔ケアを実施しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄の間隔を把握して、適宜トイレへの誘導をすることにより、オムツやパットの使用を減らし、本人の排泄の感覚を取り戻せるよう支援しています。	
			(外部評価) 排泄パターンを把握し、個人のリズムに合わせてトイレ誘導を行っている。席を立った際に合わせて、さりげなくトイレへ誘導したり、表情や仕草から察知するなど、羞恥心への配慮にも努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 食物繊維などを多く含む食品や、乳製品や果物等を摂取できるよう心がけています。 日常動作の中やリハビリ体操などの適度な運動を行っています。 その上で、便秘期間が長い場合には、便秘薬等を服用して頂いています。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 毎日のように、お風呂を沸かし、希望があれば毎日でも入浴できるようになっております。その日の体調やバイタルを考慮して、できるだけ利用者の希望やタイミングに合わせて努力しています。	
			(外部評価) 毎日入浴できるように準備を行っており、午前中に希望に沿って入浴の支援をしている。希望が重なるときは職員が間に入ってトラブルにならないよう対応している。少なくとも週に2回は入浴できるよう働きかけている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 利用者は個々の生活習慣に応じた睡眠をとられています。 困難な利用者には、日中に適度な運動をしてもらったり、個々に合った対応をしたりすることにより、よく休んでいただけるように努めています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 主治医や薬剤師との連携により薬の内容を理解し、薬の袋に氏名と日付を入れ、間違いの無い薬の服用を支援しています。 また、症状の変化が見られるときには、医師への相談がすみやかに行えるように連携をとっています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 洗濯干し、食前食後の手伝い、掃除、花瓶の水替え等それぞれの残存能力や得意なことにより役割分担し、喜んでいろいろな場面に参加できるように努めています。 その為に、職歴や得意なこと、残存能力等を細かく把握し、その人に合った支援を行っています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 体調や気候を考慮しながら地域の行事への参加、住み慣れた場所への外出、美容室やスーパーなど、本人の希望に沿った場所への外出の支援を行っています。また、毎日のように散歩をされている方もいらっしゃいます。 お花見や遠足等の行事を通じて、他の利用者と共に出かけられる機会を作っています。 (外部評価) 日常的に近隣のスーパーや、散歩へ出かけたりしている。利用者の希望に応じて、道後の足湯や菊花展、外食など遠足やドライブへも積極的に出かけている。自家菜園に植えられた季節の花の手入れや、野菜の水やりなど、外気に触れる機会を作っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 利用者のご家族との相談のもと、各残存能力によって、金銭管理して頂いています。 金銭管理の難しい方については、おこづかいを預かり、スーパーなどに出掛けた際など必要な時に支援しています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者本人がご家族や知人などに電話をされたり、手紙を書かれたり出来るよう支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 日中、大半を過ごされるリビングには、特に季節感に配慮し、観葉植物や生け花、四季を表現した貼り絵等を作成し、五感全てを意識しながら、居心地の良い場所となるよう努めています。 また、居室やトイレ、浴室等の明暗や温度の変化があまり無いように努めています。</p> <p>(外部評価) リビングは窓から陽が射し込み明るく、キッチンと一体的になっているため、食事の支度をしながら楽しく会話もでき、和やかに過ごせる空間となっている。玄関前の自家菜園をリビングの窓から眺めることもでき、季節感を味わうこともできる。</p>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価) いくつかのリビングソファとテーブルがあるので、一人で新聞を読んだり、陽の当たる日中うとうとされたり、ふと思いだした話を利用者さん同士で話されたりと思いつきに過ごせるように工夫しています。また、職員は入居者それぞれの関係性を大切にしたり関わり方を心がけています。</p>	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 居室には、出来る限り使い慣れた家具や持ち物、懐かしい写真などを置き、居心地の良い空間となるよう努めています。 また、テレビや書籍、趣味の物等利用者本人が居心地よく居室で過ごせるようにしています。</p> <p>(外部評価) 使い慣れた家具や、テレビ、小物、写真などが思い思いに置かれ、個性のある居室となっている。居室前に掛ける持ち込みの暖簾も、光に敏感な方は遮光の暖簾を利用するなど、個々の思いが尊重された居室となっている。木のベッドを利用されている方もあり、木の雰囲気が部屋に落ち着きを与えている。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価) 居室には、一律に氏名を掲示するのではなく、目印などを利用して利用しています。 利用者全体の安全のもとに、個々の残存能力を生かす動線を確認し、家具の配置や設備の工夫を行っています。</p>	

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870102690
法人名	有限会社優寿の里
事業所名	グループホーム優寿の里
所在地	松山市堀江町甲207-1
自己評価作成日	平成23年1月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載](#)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成23年2月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者一人ひとりの思いを大切に、笑い声が絶えないホームになっています。医療機関(主治医)とも綿密に連携をとっており安心して生活を送っています。入居者家族様とも連携を本人のペースに合った、安心の出来る生活を確保しております。運営推進会議等では、質疑応答の時間を十分に取り、何事も相談できる開かれたホームを実施しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

幹線道路から少し奥まった、工場が多く立ち並ぶ地域に建てられたホームであるが、目前にある川岸には魚や鳥の姿も見られるなど、季節折々の自然を感じることができる。リビングキッチン、明るく陽が射し込み、和やかな雰囲気です。団欒の場、憩いの場となっている。職員は利用者本位を大切にケアを心がけており、対応や口調は優しく穏やかである。利用者は安心して生活が送れており、明るい表情が見られる。代表者や職員は共にホームの質の向上を目指しており、積極的に研修へも参加している。代表者と職員の間には壁がなく、自由に意見が言い合えるなど、相互に信頼関係が構築されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		



(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム 優寿の里

(ユニット名) 2F

記入者(管理者)  
氏名 堀 恵子

評価完了日 平成23年1月14日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 理念、基本方針を全職員で共有し、地域の中でその人らし生活が送れるよう努めています。尚家族様から信頼される開かれたホームを目指しています。</p> <p>(外部評価) ホーム内の随所に掲示されており、常に職員への意識付けになっている。開設当初からの理念、基本方針を大切に、利用者が安心した生活が送れるよう支援している。職員会議で個々のケースに当てはめ、基本方針をおりまぜて話し合い、振り返りを行いながら実践に繋げている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 散歩時、近隣の方とお話をしたり、出来る範囲で地域の行事に参加し、地域住民と交流を持つことで、地域から孤立することなく暮らしを続けられる様 地域交流に取り組んでいます。</p> <p>(外部評価) 町内会主催の敬老会や運動会等の行事にも積極的に参加し、地域の方と交流している。日常的な散歩の中で近隣住民との交流があり、収穫したての野菜や桜の枝等のお裾分けを頂くこともある。工場が多い地域ではあるが、ホームで行われる勉強会に近隣の企業からの参加者もあり、運営推進会議の活用努力が感じられる。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 地域周辺(町内会) に向けホームで開催の避難訓練等に参加頂くよう、文書などで参加の呼び掛けを実施しております。</p>	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議に家族及び地域の方々等の出席を戴き、 ホームでの状況報告を上げたり、毎回議題を決め協議 を行っています。会議後半では何でも相談の出来る意 見交換の時間をとっております。後日運営推進記事録 を送付して内容を共有してもらっています。	開催日時や会議内容を工夫しながら実施されており、 会議参加者による活発な意見交換もあり、有意義な会 議となっているが、更なる質の向上にむけた課題の取 り組みのために、参加経験のない関係者への働きかけ に期待したい。
			(外部評価) 運営推進会議を勉強会や行事と併せるなど内容につい ても工夫しており、有意義な会となっている。また、 代表者は意見交換の時間を大切に考え、双方向の会議 となるよう心がけている。家族から意見や質問等もあ り、活発に意見交換が行われている。議事録は、分か り易く詳細に記録され、会議の様子が伝わる内容と なっている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くよう に取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議中質疑応答を行い、入居者家族様からの 率直な意見を出してもらい、市役所、地域包括セン ターの職員から新しい情報やアドバイスを戴いていま す。	
			(外部評価) 運営推進会議のみならず、代表者は日頃から積極的に 市の担当者に電話で相談したり、助言を得ながら改善 課題に取り組んでおり、協力関係を築く働きかけを 行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 勉強会の実施、又サービス担当者会議時に話し合う事 で、身体拘束を行わない事を学習しケアの向上に努め ています。代替案の無い場合及び緊急性のある場合は ご家族様の意見等を聞き対応しております。	
			(外部評価) 職員は身体拘束による弊害も理解し、言葉の拘束も含 めて排除に向けた取り組みを行っている。機会あるご とに職員間で話し合い、意識付けを行っている。不穏 な行動が見られる場合は、職員が付き添い対応してい る。防犯のため、夜間等の必要最低限の範囲で施錠を 行っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会の実施、又サービス担当者会議時に話し合う事で、虐待防止の無いよう努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修等への参加を行い各制度への理解を深めるように努めています。又制度の説明や家族様からの相談にも支援できるように努めています。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には、重要事項説明書にて十分な説明を行い、疑問点があれば、説明を行い理解・納得を図っています。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 個別に家族様からの意見を伺い、運営推進会の場で話し合ったり、家族様から直接発言をして頂き運営に反映し又は検討を行っています。  (外部評価) 利用料を窓口支払とし、なるべく家族に訪問してもらえる機会を設けている。職員は、面会時に家族が気兼ねなく意見や要望を言えるような雰囲気づくりに努めながら、必ず声かけを行なっている。運営推進会議の案内も毎回全員の家族に呼びかけ、会議の内容も報告している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) 職員より、意見や提案を聞ける雰囲気を作る様に努めています。</p> <p>(外部評価) 日頃から代表者や管理者は、職員との関わりを大切に考えいつでも話を聞く姿勢を持って対応している。職員から出された要望や意見は、職員会議以外でもその都度、検討されケアに反映されている。しっかりとした信頼関係が築かれており、安心して職員が意見を述べられる環境となっている。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) 職員の状況を把握し、各自が向上心を持って働けるような職場環境づくりをしています。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) 職員一人ひとりの力量を把握し、その人に合った研修参加の呼び掛けを行っています。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) 他、福祉施設への夏祭りや行事に参加したり、福祉関係者との座談会を行ったりしてネットワーク作りをしています。</p>	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価) 本人様と個別の対応を行える時間を持ち、要望や思いを受け取れるようにケアを行っています。又各職員が対応時に気が付いた事などは管理者やケアマネジャーに報告を行い、その時に合わせたケアが出来るように結び付けています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 家族様の思いを引き出されるように話し合いの時間をもち、要望に出来る限り応えられるように支援方法の検討・相談を行えるような関係作りに努めています。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時に以前にサービス受けていた関係者の方から、情報を聞き取りし、必要としている支援を見極めています。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 本人の出来る事、出来そうな事を見つけ一緒に行えるように支援しています。理念にもあるように（共に生きる姿勢）を大事にしています。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族様に言えない思いをお伝えしたり、近況報告を交え、家族様と本人様の橋渡しになれるよう、又家族様と一緒に今後のケアについて相談を行いながら支援を行えるように努めています。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 年賀状や手紙など、馴染みの方と連絡を取り合う事が出来るように支援しています。  (外部評価) 一人ひとりの入居前の生活習慣を必ず確認し、入居後も習慣が継続できる支援に努めている。行きつけの理美容室に行ったり、家族の協力を得てお正月やお盆を利用して帰省する利用者もいる。家族の訪問は多く、職員も定着しており馴染みの関係継続ができています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者様同士の相性を配慮し、職員が間に入る事で良い関係を築かれる様支援をしています。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 関係性の継続が必要と考えられる場合には、電話・訪問等を行い、本人ご家族の相談や支援に努めています。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人様の思い、本音を引き出せる様に個別ケアを出来る時間作りに努めており、要望や職員が気付いた事等は報告書に記入し、職員全員で把握し支援につなげるよう努めています。  (外部評価) 職員1人に対して、利用者1人から2人の担当制であるが、夜勤や入浴時、散歩中など、何気ない日常生活のなかで得た気づきや個々の思いは、個人ファイルに記載され職員間で共有できるようになっている。個人記録をもとにケース会議で検討され、本人本位の支援が行われている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所される時、又は家族様の面会時等、話し合える時間を持ち把握出来るように努めています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 体調や個人の状態に合わせる様に個別に支援を行うように努めています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 利用者の介護目標を、より詳細に把握するため利用者ごとに担当を決めている。家族の面会時には日々の状況を報告し、要望などを聞きながら介護計画の作成にいかしています。	
			(外部評価) 毎月モニタリングを行い、個人ファイルに記載された情報や家族からの要望等も踏まえて、介護計画を見直している。3か月ごとに介護計画を作成し直し、現状に即した支援を行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 毎日の個別記録の他 職員が日々の生活から要望・気づいた事を記入し、職員間で情報を確認して介護計画の見直しに活かしています。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 個人個人の考え方を尊重し柔軟に対応し、尚家族様との連携をとり、ニーズに合った多機能化の実現に努めています。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) お琴・尺八・縦笛・歌等を伴う、音楽ボランティアの協力を得て楽しい時間を過ごしています。	



自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 医療機関、訪問歯科医院と連携をとっている。また、 協力医療機関とは24時間医療連携体制をとっており 特変時には指示を仰いでいます。	
			(外部評価) 2週間に1回、協力医療機関の往診があり適切な医療 が受けられるよう支援している。希望があれば専門医 の受診支援も行っている。受診結果は、個別ファイル に記載され、職員間で共有できるようになっている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 協力医療機関の看護師へは、気づきや情報を伝え、特 変時には、連絡を取っている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 医療機関、訪問歯科医院と連携をとっている。また、 協力医療機関とは、月2回の往診と24時間体制を とっており、特変時には、指示を仰いでいる。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 医療機関と連携をとり、病状の確認をしながら、早期 退院に向け支援している。	
			(外部評価) 早期から終末期に向けた話し合いを繰り返し行い、状 況に合わせて支援を行っている。今までに8例の看取 りの経験があり、職員全員が看取りの経験者である。 看取りに関する方針を職員全員が共有し、家族、医師 など関係者と密接に連携して支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 外部や施設内で勉強会を実施し、又救命救急講習等への参加でスキルアップに努めている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 近隣に協力をお願いをしており、合同での避難訓練等実施している。(近隣工場へ出向き、緊急時の対応をお願いし、快く承諾を得ている。連絡先等も持っている)  (外部評価) 年2回消防署立会いのもと避難訓練を行っている。運営推進会議を利用し、防災訓練とともにAEDの講習を行うなど地域との協力体制が築けるよう働きかけている。工場が立ち並ぶ地域ではあるが、近隣の企業協力を得ており、緊急時の連絡体制も整っている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 居室前には一人ひとりの好みに合わせたのれんを掛ける事により、居室の目印、又個々の空間作り・戸を開けた時の目隠しになるように配慮しており、声を掛けた際には、その場面に応じた声掛けを行えるよう努めている。  (外部評価) 職員の口調や態度は穏やかで笑顔で会話がされており、明るく優しい雰囲気である。羞恥心にも配慮した支援がされており、一人ひとりを尊重した対応が行われている。面会簿は個別に記録されるようになっており、プライバシーを損ねない対応を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 個々の状態に合わせ自己決定出来るような支援を行えるよう努めており、本人の希望を引き出せるような状況の提供を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 職員の業務優先になる事なく本人の思いを聞きながら、本人のペースに合わせた暮らしを支援しています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 日常的に身だしなみには十分気を付けています。望まれる方には美容院にも出かけます。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事中や食後のだんらん時に、利用者の好きな食べ物聞き、希望を取り入れながら栄養面にも考慮して献立をたてています。食事の下処理、食事作り、配膳、食器洗い等も共に行っています。  (外部評価) キッチンリビングと一体となっており、匂いや音は食欲を刺激し会話も弾ませている。ユニットごとに利用者の希望を取り入れながら献立を作成し、誕生日にはリクエストメニューでお祝いをしている。食事の準備や調理、片付けなど見守りながら支援している。自家菜園の季節野菜の収穫も楽しみの1つとなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養バランスや、各自の摂取量を考えてメニュー作りを行っています。水分摂取量を各時間(食事時・おやつ時)毎に記録し、1日の合計量が即時に分かるようにしています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、一人ひとりに歯磨きの声掛けをし、同時に義歯等の調子聞きケアにあたっています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) バイタルチェック表を作成し、排泄パターンを把握しトイレへ誘導を行い排泄の失敗やおむつの使用量を減らすよう支援しています。	
			(外部評価) 排泄パターンを把握し、個人のリズムに合わせてトイレ誘導を行っている。席を立った際に合わせて、さりげなくトイレへ誘導したり、表情や仕草から察知するなど、羞恥心への配慮にも努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 毎朝食には、必ずヨーグルトを摂取する献立にし、食材には繊維質の多く含まれている食品を使用する様心掛けています。各個人様ではご家族様が乳製品を持参されたり宅配を受けたりしています。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 利用者様の体調に合わせ、希望を聞きながら実施しています。	
			(外部評価) 毎日入浴できるように準備を行っており、午前中に希望に沿って入浴の支援をしている。希望が重なるときは職員が間に入ってトラブルにならないよう対応している。少なくとも週に2回は入浴できるよう働きかけている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 各自の生活リズムに合わせて、休憩や睡眠をとれるように支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬剤師より薬を受け取る時、説明を受けて薬の目的や副作用の理解をし、症状の変化時には、主治医に連絡し対応しております。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 各自の負担にならない様に得手不得手を理解し役割を持ってもらったり、日々楽しく過ごせる様に支援しております。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 体調や状態に応じて、買い物・ドライブ・外食・遠足等、実施しております。	
			(外部評価) 日常的に近隣のスーパーや、散歩へ出かけたりしている。利用者の希望に応じて、道後の足湯や菊花展、外食など遠足やドライブへも積極的に出かけている。自家菜園に植えられた季節の花の手入れや、野菜の水やりなど、外気に触れる機会を作っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭トラブルが多い為、ご家族様とも相談のうえ個人での所持は行っておりません。買い物時等は立替で、その都度支払ってもらう支援を行っています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望時には、電話・手紙等の連絡が出来るようにしています。年賀状・暑中見舞いは、ご家族様に発送するように支援しております。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 共有空間には、常に季節を感じられる様に、生花、飾り物を置いています。温度調節を行い心地よく過ごしていただいています。	
			(外部評価) リビングは窓から陽が差し込み明るく、キッチンと一体的になっているため、食事の支度をしながら楽しく会話もでき、和やかに過ごせる空間となっている。玄関前の自家菜園をリビングの窓から眺めることもでき、季節感を味わうこともできる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングにはソファを置き、気の合う者同士が楽しく会話できるようにしています。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家族の協力を得昔からの馴染みの物品を持ち込み、心落ち着ける空間になっています。	
			(外部評価) 使い慣れた家具や、テレビ、小物、写真などが思い思いに置かれ、個性のある居室となっている。居室前に掛ける持ち込みの暖簾も、光に敏感な方は遮光の暖簾を利用するなど、個々の思いが尊重された居室となっている。木のベッドを利用されている方もあり、木の雰囲気が部屋に落ち着きを与えている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 安全歩行の為に、廊下には、手すりを設置し、歩行時に危険となる物は排除しています。	